

4 標準溶液, 標準原液

亜鉛標準原液 亜鉛1.0gを量り, 6mol/l塩酸に溶かして水浴上で蒸発乾固し, 残留物に1mol/l塩酸を加えて1,000mlとする。本液1mlは亜鉛1mgを含む。

亜鉛標準溶液 亜鉛標準原液1mlを採り, 水を加えて50mlとする。その1mlを採り試験溶液と同じ浸出用液を加えて20mlとする。水を浸出用液とする場合にはこれに酢酸5滴を加える。本液1mlは亜鉛1 $\mu$ gを含む。

アンチモン比色標準溶液 (削除)

アンチモン標準原液 塩化アンチモン(III) 1.874gを量り, 少量の塩酸(1→2)で溶解した後, 塩酸(2→5)を加えて1,000mlとする。本液1mlはアンチモン1mgを含む。

アンチモン標準溶液 アンチモン標準原液1mlを採り, 4%酢酸を加えて100mlとし, その1mlを採り4%酢酸を加えて200mlとする。本液1mlはアンチモン0.05 $\mu$ gを含む。

エピクロロヒドリン標準溶液 エピクロロヒドリン100mgをペンタンに溶かして100mlとし, その1mlを採り, ペンタンを加えて100mlとする。更にこの液5mlを採り, ペンタンを加えて100mlとする。本液1mlはエピクロロヒドリン0.5 $\mu$ gを含む。

塩化ビニリデン標準溶液 100mlのメスフラスコに約98mlのN,N-ジメチルアセトアミドを入れ, シリコンゴム栓をする。このメスフラスコに塩化ビニリデンを250 $\mu$ l, シリコンゴム栓を通して注入する。更にシリコンゴム栓を通してN,N-ジメチルアセトアミドを注入して100mlとする。この液1mlを採り, N,N-ジメチルアセトアミドを加えて50mlとする。本液1mlは塩化ビニリデン60 $\mu$ gを含む。

塩化ビニル標準溶液 200mlのメスフラスコに約190mlのエタノール(塩化ビニル試験用)を入れ, シリコンゴム栓をして重量を測定する。このメスフラスコをメタノール・ドライアイス浴で冷却し, あらかじめ液化した塩化ビニル200mgをシリコンゴム栓を通して注入する。シリコンゴム栓を通して, メタノール・ドライアイス浴で冷却したエタノール(塩化ビニル試験用)を注入して200mlとする。次いで, これをメタノール・ドライアイス浴で冷却し, その1mlを採り, メタノール・ドライアイス浴で冷却したエタノール(塩化ビニル試験用)を加えて100mlとする。メタノール・ドライアイス浴中で保存する。本液1mlは塩化ビニル10 $\mu$ gを含む。

カドミウム標準原液 金属カドミウム100mgを量り, 1

4 標準溶液, 標準原液

亜鉛標準原液 亜鉛1.0gを6mol/l塩酸に溶かして水浴上で蒸発乾固し, 残留物に1mol/l塩酸を加えて1,000mlとする。この液15mlを採り, 0.1mol/l塩酸を加えて1,000mlとする。

アンチモン比色標準溶液 アンチモン500mgを採り, 硫酸25mlを加え, 加熱して溶かし, 冷後, 硫酸(1→6)を加えて500mlとし, その1mlを採り, 硫酸(1→6)を加えて100mlとする。更にこの液1mlを50mlのメスフラスコに採り, 硫酸(1→2)10ml, ヨード・レーアスコルビン酸試液10ml及び水を加えて50mlとする。

エピクロロヒドリン標準溶液 エピクロロヒドリン1.0gをn-ペンタンに溶かして100mlとし, その1mlを採り, n-ペンタンを加えて100mlとする。更にこの液2.5mlを採り, n-ペンタンを加えて100mlとする。

塩化ビニリデン標準溶液 100mlのメスフラスコに約98mlの四塩化炭素及びテトラヒドロフランの混液(7:3)を入れ, シリコンゴム栓をする。このメスフラスコに, 塩化ビニリデンを正確に250 $\mu$ l, シリコンゴム栓を通して注入する。更にシリコンゴム栓を通して四塩化炭素及びテトラヒドロフランの混液(7:3)を注入して100mlとする。この液1mlを採り, 四塩化炭素及びテトラヒドロフランの混液(7:3)を加えて100mlとし, 更にその1mlを採り, 四塩化炭素及びテトラヒドロフランの混液(7:3)を加えて100mlとする。

塩化ビニル標準溶液 200mlのメスフラスコに約190mlのエタノール(塩化ビニル試験用)を入れ, シリコンゴム栓をして重量を測定する。このメスフラスコをメタノール・ドライアイス浴で冷却し, あらかじめ液化した塩化ビニル約200mgをシリコンゴム栓を通して注入する。次いで, 重量を測定して増量a(mg)を精密に求める。シリコンゴム栓を通して, メタノール・ドライアイス浴で冷却したエタノール(塩化ビニル試験用)を注入して200mlとする。次いで, これをメタノール・ドライアイス浴で冷却し, その1mlを採り, メタノール・ドライアイス浴で冷却したエタノール(塩化ビニル試験用)を加えて200mlとし, 更にその1mlを採り, メタノール・ドライアイス浴で冷却したエタノール(塩化ビニル試験用)を加えて100mlとする。メタノール・ドライアイス浴中で保存する。

標準溶液の補正係数 = a/200

カドミウム標準原液 金属カドミウム100mgを10%硝

0%硝酸50mlに溶かして水浴上で蒸発乾固し、残留物に0.1mol/l硝酸を加えて100mlとする。本液1mlはカドミウム1mgを含む。

カドミウム標準溶液 カドミウム標準原液1mlを採り、試験溶液と同じ溶媒を加えて200mlとする。ただし、試験溶液が水の場合には硝酸を5滴加える。

本液1mlはカドミウム5 $\mu$ gを含む。

カドミウム標準溶液(ガラス等試験用) カドミウム標準溶液10mlを採り、4%酢酸を加えて100mlとする。

本液1mlはカドミウム0.5 $\mu$ gを含む。

カドミウム標準溶液(金属缶試験用) カドミウム標準溶液2mlを採り、浸出用液を加えて100mlとする。ただし、浸出用液が水の場合には硝酸を5滴加える。

本液1mlはカドミウム0.1 $\mu$ gを含む。

カドミウム・鉛標準溶液(ポーラログラフ法用) (削除)

カプロラクタム標準溶液 カプロラクタム1.5gを量り、20%エタノールに溶かして1,000mlとする。この液1mlを採り、20%エタノールを加えて100mlとする。本液1mlはカプロラクタム15 $\mu$ gを含む。

クレゾール標準溶液 (削除)

クレゾールリン酸エステル標準溶液 クレゾールリン酸エステル100mgを採り、アセトニトリルを加えて溶解し100mlとする。その1mlを採り、アセトニトリル60mlを加えた後、水を加えて100mlとする。本液1mlはクレゾールリン酸エステル10 $\mu$ gを含む。

ゲルマニウム比色標準溶液 (削除)

ゲルマニウム標準原液 二酸化ゲルマニウム144mgを白金るつぼに量り、炭酸ナトリウム1gを加え、十分に混合した後、加熱融解し、冷後、水を加えて溶かす。塩酸を加えて中和した後、1ml過剰に塩酸を加え、更に水を加えて100mlとする。本液1mlはゲルマニウム1mgを含む。

ゲルマニウム標準溶液 ゲルマニウム標準原液1mlを採り、4%酢酸を加えて100mlとする。その1mlを採り、4%酢酸を加えて100mlとする。本液1mlはゲルマニウム0.1 $\mu$ gを含む。

ジブチルスズ標準溶液 二塩化ジブチルスズ100mgにアセトン及び塩酸2~3滴を加えて溶かした後、アセトンを加えて100mlとする。その1mlを採り、ヘキサン及び塩酸2~3滴を加えて1,000mlとする。本液1

酸50mlに溶かして水浴上で蒸発乾固し、残留物に0.1mol/l硝酸を加えて1,000mlとする。この液1mlを採り、0.1mol/l硝酸を加えて100mlとする。

カドミウム・鉛標準溶液(ポーラログラフ法用) 金属 カドミウム100mgを70%過塩素酸7.8mlに溶かし、0.1mol/l塩酸10ml及び水を加えて1,000mlとする。この液10mlに鉛標準溶液(ポーラログラフ法用)の原液10mlを加え、更に電解液を加えて100mlとする(直流ポーラログラフ法を用いる場合にあっては、更にゼラチン溶液2mlを加えてよく振り混ぜる。)

カプロラクタム標準溶液 カプロラクタム1.5gを20%エタノールに溶かして1,000mlとする。この液1mlを採り、20%エタノールを加えて100mlとする。

クレゾール標準溶液 m-クレゾール0.044g, o-クレゾール0.044g及びp-クレゾール0.044gをエタノールに溶かして150mlとする。

ゲルマニウム比色標準溶液 二酸化ゲルマニウム144mgを白金るつぼに採り、無水炭酸ナトリウム1gを加え、十分に混合した後、加熱融解し、冷後、水を加えて溶かす。塩酸を加えて中和した後、1ml過剰に塩酸を加え、更に水を加えて100mlとする。この液1mlを採り、水を加えて200mlとし、その2mlを分液漏斗に採り、水8ml及び塩酸30mlを加え、更に四塩化炭素20mlを加えて2分間激しく振り混ぜた後、四塩化炭素層を分取し、これを四塩化炭素抽出液とする。あらかじめ、0.05%フェニルフルオロン試液2ml及びエタノール6mlを20mlのメスフラスコに入れて混合し、これに四塩化炭素抽出液10mlを加え、更にエタノールを加えて20mlとする。

ジブチルスズ標準溶液 二塩化ジブチルスズ100mgをエタノールに溶かして1,000mlとする。

mlは二塩化ジブチルスズ1 $\mu$ gを含む。

鉛標準原液 硝酸鉛(II) 159.8mgを10%硝酸10mlに溶かし、水を加えて100mlとする。本液1mlは鉛1mgを含む。

鉛標準溶液 鉛標準原液1mlを採り、試験溶液と同じ溶媒を用いて200mlとする。ただし、試験溶液が水の場合には硝酸を5滴加える。本液1mlは鉛5 $\mu$ gを含む。

鉛標準溶液(金属缶試験用) 鉛標準溶液8mlを採り、浸出用液と同じ溶媒を用いて100mlとする。ただし、浸出用液が水の場合には硝酸5滴を加える。本液1mlは鉛0.4 $\mu$ gを含む。

鉛標準溶液(重金属試験用) 鉛標準原液1mlを採り、水を加えて100mlとする。用時調製する。本液1mlは鉛10 $\mu$ gを含む。

鉛標準溶液(ポーラログラフ法用) (削除)

バリウム標準原液 硝酸バリウム190.3mgを0.1mol/l硝酸に溶かして100mlとする。本液1mlはバリウム1mgを含む。

バリウム標準溶液 バリウム標準原液1mlを採り、0.1mol/l硝酸を加えて1,000mlとする。本液1mlはバリウム1 $\mu$ gを含む。

ヒ素標準原液 三酸化二ヒ素を微細な粉末とし、105 $^{\circ}$ で4時間乾燥し、その0.10gを量り、水酸化ナトリウム溶液(1 $\rightarrow$ 5)5mlを加えて溶かす。この液を硫酸(1 $\rightarrow$ 20)で中和し、更に硫酸(1 $\rightarrow$ 20)10mlを追加し、新たに煮沸し冷却した水を加えて1,000mlとする。本液1mlは三酸化二ヒ素0.1mgを含む。

ヒ素標準溶液 ヒ素標準原液10mlを採り、硫酸(1 $\rightarrow$ 20)10mlを加え、新たに煮沸し冷却した水を加えて1,000mlとする。本液1mlは三酸化二ヒ素1 $\mu$ gを含む。用時調製し、共栓瓶に保存する。

フェノール標準溶液 フェノール1.0gを水に溶かして100mlとし、その1mlを採り、水を加えて100mlとする。更にこの液1mlを採り、水を加えて20mlとする。本液1mlはフェノール5 $\mu$ gを含む。

メタクリル酸メチル標準溶液 メタクリル酸メチル1.5gを採り、20%エタノールに溶かして1,000mlとする。この液1mlを採り、20%エタノールを加えて100mlとする。本液1mlはメタクリル酸メチル15 $\mu$ gを含む。

2-メルカプトイミダゾリン標準溶液 2-メルカプトイミダゾリン200mgを採り、メタノールに溶かして100mlとする。この液1mlを採り、メタノールを加えて100mlとする。本液1mlは2-メルカプトイミダゾリン20 $\mu$ gを含む。

D 器具若しくは容器包装又はこれらの原材料の材質別規格

1 ガラス製、陶磁器製又はホウロウ引きの器具又は容器包装  
ガラス製、陶磁器製又はホウロウ引きの器具又は容器包装は、次の試験法による試験に適合しなければな

鉛標準原液 硝酸鉛159.8mgを0.1mol/l硝酸に溶かして1,000mlとする。この液10mlを採り、0.1mol/l硝酸を加えて100mlとする。

鉛標準溶液(ポーラログラフ法用) 硝酸鉛159.8mgを電解液に溶かして1,000mlとし原液とする。原液10mlを採り、電解液を加えて100mlとする(直流ポーラログラフ法を用いる場合にあっては、更にゼラチン溶液2mlを加えてよく振り混ぜる。)

バリウム標準原液 硝酸バリウム190.3mgを0.1mol/l硝酸に溶かして500mlとする。この液10mlを採り、0.1mol/l硝酸を加えて100mlとする。

フェノール比色標準溶液 フェノール1.0gを水に溶かして100mlとし、その1mlを採り、水を加えて100mlとする。更にこの液1mlを採り、水を加えて20mlとし、ホウ酸緩衝液3mlを加えてよく振り混ぜた後、4-アミノアンチピリン試液5ml及びフェリシアニ化カリウム試液2.5mlを加え、更に水を加えて100mlとする。よく振り混ぜて室温で10分間放置する。

メタクリル酸メチル標準溶液 メタクリル酸メチル1.5gを20%エタノールに溶かして1,000mlとする。この液1mlを採り、20%エタノールを加えて100mlとする。

2-メルカプトイミダゾリン標準溶液 2-メルカプトイミダゾリン200mgをメタノールに溶かして100mlとする。この液1mlを採り、メタノールを加えて100mlとする。

D 器具若しくは容器包装又はこれらの原材料の材質別規格

1 ガラス製、陶磁器製又はホウロウ引きの器具又は容器包装  
ガラス製、陶磁器製又はホウロウ引きの器具又は容器包装は、次の試験法による試験に適合しなければな